

★ 医療被ばく低減施設認定取得 ★



現代医療における放射線診療は欠かせないといっても過言ではありません。医療機関から患者さんへの医療情報の開示や十分な説明が求められる中、放射線分野において、特に医療被ばくに関しては、直接の行為者である私たち診療放射線技師が責任を負うことが当然と考えています。

医療被ばく低減施設認定とは、日本診療放射線技師会が「安心できる放射線診療」を患者さんに提供するためにを行っている取り組みです。

当院では、平成 26 年 3 月に医療被ばく低減施設の認定を取得しました。

これにより、各検査で受けた被ばく線量を把握、管理することで安心、安全な検査を実施しています。放射線検査で受けた被ばく線量の不安やご質問は、放射線科までお問い合わせください。

(ご希望があれば、当院の実測値の提示や、後日被ばく線量を準備して説明いたします。)

以下に当院で測定した標準的な被ばく線量を示します。

一般撮影	技師会ガイドライン	皮膚吸収線量	卵巣	子宮	精巣	実効線量 (mSv)
撮影部位 (mGy)						
胸部正面	0.3	0.186	0.001	—	—	0.025
腹部立位	3.0	2.560	0.587	0.250	0.023	0.211
腹部臥位	—	3.006	1.222	0.582	0.149	0.265
頸椎	0.9	0.776	—	—	—	0.038
胸椎正面	4.0	2.689	0.001	0.002	—	0.201
胸腰椎正面	—	2.704	0.228	0.213	0.002	0.208
腰椎正面	5.0	4.000	0.249	0.216	0.001	0.219
腰椎側面	15.0	6.528	0.173	0.098	0.002	0.213
骨盤・股関節正面	3.0	2.556	0.362	0.477	1.520	0.188
小児胸部	0.2	0.207	—	0.001	—	0.041
小児腹部	0.3(0歳)0.5(3歳)0.7(5歳)	0.575	0.170	0.171	0.504	0.122
小児股関節	—	0.762	0.281	0.318	1.208	0.121

CT	甲状腺	皮膚	水晶体	睪丸	卵巣	子宮	実効線量 (mSv)
撮影部位 (mGy)							
頭部	1.900	3.300	52.000	—	—	—	2.0
胸部	17.000	3.400	0.260	0.001	0.070	0.048	6.1
腹部～骨盤	0.088	8.200	0.005	22.000	19.000	19.000	12.0
上腹部	0.087	4.000	0.005	0.044	2.000	1.700	7.2
骨盤部	0.004	5.300	—	22.000	18.000	19.000	6.4
胸部～腹部・骨盤部	30.000	13.000	0.470	22.000	19.000	19.000	20.0

乳房撮影(マンモグラフィ)	技師会ガイドライン	当院
平均乳腺線量 (mGy)	2.00	1.34